

TEKU-TEKU「江古田の杜」を歩く 活動記録

■企画主旨

江古田の杜(中野区江古田三丁目地区、約 4.4ha)は、国家公務員宿舎の移転再配置を通じた都市再生プロジェクトです。

ここ江古田の国家公務員宿舎用地と UR 都市機構が整備した「東雲キャナルコート」の一部敷地との土地交換が事業のスタート。まちづくりは、①子育て環境の構築 ②医療連携による安全・安心まちづくり ③ミクストコミュニティによる持続性あるまちづくり をコンセプトに、UR、事業者公募で選定された積水ハウス、医療機関が一体となり、進められました。さらに、エリアマネジメントの取り組みがこのまちの大きな特徴です。

事業を担当した UR のご担当、エリマネをになうリブインラボ協議会のご担当からまちづくりの「ねらい」などを伺い、まちの「いま」を体感していただくという企画です。

■開催日

2024 年2月24日(土) 13:30～17:00+意見交換会～18:30

■コース

大江戸線新江古田駅～江古田の森公園～江古田の杜「リブインラボ」・事業概要説明
～グランドメゾン(分譲棟)～プライムメゾン(賃貸・サ高住)～周辺緑地「緑のリング」
～リブインラボ内施設～意見交換会(リブインラボ内「えごたいえ」)～夜の江古田の森公園

■参加者

大竹 亮、栗原 徹、井手 幸人、上野 朋子、伊藤 圭子、横田 宜明、村松 紀明、原 久子、
藤井 幹也、村田 英樹、庄山 典子、小川 美由紀、森 正代、森田 寛、
椿 真吾(コーディネーター) 計15名

📍 位置図



江古田の森公園

多目的広場、樹林公園、健康器具施設、学習室、芝生広場、ビオトープ池などがある約 6ha の緑豊かな防災公園です。日本からアメリカに贈った桜の返礼として届けられたアメリカハナミズキが、当時この地にあった野方苗圃に植えられ、各地の街路樹として育成されたという歴史の地でもあります。



1 「江古田の杜」のまちづくり全般についての評価 ―子育て環境の構築、医療連携、ミクストコミュニティ形成、エリアマネジメントなど―

評価 4.60 AAAAAAAAAAABBB

A:現代の居住問題は、住宅や住環境のハードな水準というよりも、子育てや介護、地域コミュニティや活動の場づくりなどのソフトな仕掛けよとことが大きく、それが地域の持続性につながっていく。その意味で非常に意欲的なプロジェクトだと思う。それらが周辺住宅地にも開かれ、街に広がっていくようなものであってほしい。

A:エリアマネジメントの拠点としてのリブインラボの存在が、この地区のまちづくりで重要な役割を果たしている。分譲住宅と賃貸住宅の事業を1つの事業者が実施し、その事業者が持続的に関与することで、リブインラボのような仕組みが可能となっているのだと思う。

A:今後のまちづくり、住まいづくりをどのように進めていくかの仕掛けがいっぱい詰め込まれているので、是非ここでの実験(試行錯誤)の成果の発信を続けていてもらいたい。

A:全体としてこのようなまちを作り上げられたことを、高く評価いたしますが、最後に帰結するのは「金」。『地獄の沙汰も金次第』。このような環境を享受されている方々の、誇らしげな笑顔が、遠い風景のように見えました。

帰路、途中から一人で歩いて、一本道を「新江古田駅」に向かいました。やや歩きでがりましたね。東横線で横浜に帰るので、行きは六本木駅経由で大江戸線で伺いましたが、帰りは新江古田駅から練馬に出て、西武線・副都心線経由で東急東横線大倉山駅に帰り着きました。

ありがとうございました

A:隣接した公園の豊かな緑が子どもにとっても宝。閉ざされた公務員宿舎から、中野区の新たな地域拠点にしたのはよかった。今日的なライフスタイルが、まちづくりとしてうまくデザインされていた。マーケティング、ターゲットを含めた視点の具現化が UR とは異なっていると思った。エリアマネジメントを含めうまく継続され、より良い環境になることを願って。

A:住環境への望みの多くを兼ね備えている物件だと思いました。安心、安全に、どのライフステージにおいても住生活を楽しめるまちづくりがなされていると思いました。

「世帯が循環するまち」ということにまちの将来性をとても感じましたが、費用対効果を考えると、分譲物件からサ高住への住み替えの循環ははたしてスムーズに進むのだろうか、と少々思いました。

『江古田の杜』のように、多世代交流のコミュニティが維持されるような仕組みのある‘まち’に暮らすことはとても魅力的だと思います。

高齢者の孤立が心身ともに機能の低下を加速させてしまうことを考えると、いつまでも‘コミュニティ’のなかで暮らせる住環境はとても大切だと感じました。

A:「持続性あるまちづくり」を目指すための様々な要素をこのプロジェクトが揃えていることが判りました。20 年後(スライドのまちの将来像に記載あり)に当初目指した姿へと「まち」が育っているのか興味深いです。

A:子育て世代にとっては本当に住みやすい、選ばれる「まち」だと感じました。またその親世代も巻き込んだ「循環型」のまちづくりというの、面白いコンセプトだと思います。ただ、若い世代にとっては、この「まち」で近隣に住み替えながら一生を過ごす、というのは、あまりに退屈な人生設計に思えるでしょう。やはり子育て中心の一時期を過ごす「まち」という位置付けではないでしょうか。

A:エリアマネジメントなくしてこの環境の維持はないと理解できる

A:盛りだくさんの「ねらい」をうまく実現されていると感じます。

A:・中野区の難しい要請を踏まえて、子育て環境の整備、医療機関との連携、ミクストコミュニティの形成を UR と積水ハウスがよく実現されたと思います。

・大規模な分譲マンションと賃貸系住宅の住民が孤立せずに、緩やかなコミュニティを形成していくために、エリアマネジメントの活動が重要だと感じました。今後もエリアマネジメントの優良事例として、様々なイベント、コミュニティ活動を支援していただければと思います。

A: 江古田氷川神社の背景がグランドマスト江古田の杜(シニア向け賃貸マンション)の中層ビルとなっている。各階のテラス部分が白色のコンクリートになっているため、参道から見ると社殿を圧迫している。他の分譲マンションはブラウン系の落ち着いた色彩を採用しているが、この建物だけ浮き立っている。景観配慮が必要と感じた。

B: 子育て環境が整った良い場所だと思います。今後の成熟に期待します。

B: 医療連携の構築を開発当初から組み入れられたことは、立地条件の魅力だと思う。

ミクストコミュニティを目指すとか、子育て環境を整えようとしている意図は理解した。

これから、ですね。エリアマネジメントに取り組む熊谷さんを応援します。

B: 設定した目標に向けて幾つかの新しい試みが行われ、ハードとしては対応する施策が揃っている事が確認出来た。



プライムメゾン中庭にて



南北プロムナード。左・グランドメゾン、右・プライムメゾン

2 個別の評価

(1) グランドメゾン（分譲棟）

評価 3.27 AAAABBBBBBBBBBCC

A: 高級感溢れる素晴らしい物件だと思います。エントランスホール、ラウンジも充実していて居住者の満足感も伝わってくる物件だと思いました。

A: 安心感のある高級集合住宅というイメージが好ましい

A: 敷地内植栽が良くて入れされている。共用部分のフロントサービス、共有部分の玄関ホール、ロビー、2階読書室等が充実していて、ホテルのような印象を受けた。管理費、リブインラボ協議会費、町会費等はリーズナブルと感じた。（不動産情報によれば管理費 13,900、修繕積立金 6,400 円、町会費: 120 円/月、リブインラボ協議会費: 300 円/月、エネルギー管理費: 1557 円/月）

A: エリアのイメージをリードする物件というところでしょうか。

B: 敷地内に広場や緑地を提供し、住棟デザインも品格があり、良好な住宅地の形成に寄与している。内部は立派で驚いたが、ロビー用に受付での安価な茶菓の提供システムや、居心地よさそうなライブラリーは良かった。

B: 質の高い分譲マンション。周囲に広場や緑の空間を十分に確保しているのはとてもいい。

B: 高級感がある共有部分、落ち着いた感じの外観デザインは素敵です。

B: 豊かな緑に囲まれた、高台のよい環境の分譲マンションです。「新江古田駅」からやや遠いですが、ファミリーの住まいとしては理想的と言ってよいでしょう。眺望も抜群です。難をいえば、私には手の届かない不動産であるということだけ、でしょうか。

周囲を見渡すと、近傍の中野区、練馬区の中でこの地区だけがポツンと緑が残っています。

B: 緑の空間と視覚的なつながりのあるリッチなロビー（パブリック空間）によって、分譲のボリューム感を打ち消し、メリハリをつけていることがなど、「商品開発の妙」と思った。（住まいが商品化することがよいかどうかは別）

B: 共有部分に人々が集うスペースが広く取られていて活用度も高そうなのが良かった。駐車場が機械式で車の出し入れに時間がかかりそう。賃貸棟も同じだが歩車分離で人工地盤の下などに駐車場を設置出来なかったか。

B: アプローチに既存樹（ゆりの木）を残したのは、土地の記憶を残す象徴とも受け取れ、好印象を残しました。

B: 外構、エントランスロビー、外壁（特にタイルの色は個人的に大好きです）等、高級感を演出している割に、居室は普通感じであまり印象に残っていません。初めての訪問でしたので、各棟への方向が分かりにくかったです。でも丁寧な標識があったので、慣れれば問題ないと思います。

B: 高級感のある分譲マンション。エントランスや共用スペースの居心地がよく、居住者に使われているのが印象的でした。コンシェルジュやゲスト用の部屋も確保されているのは大したものですが、ただ、将来的にどこまでこうしたサービスが維持できるのか、不安にはなります。

C: ファミリー世帯を意識した豊かな共用部について、今後の重荷としない仕組みが作られると良いと思います。

C: 熟練の計画と手慣れた施工により、優れた商品になっている。新たな工夫がある、というより手堅いという印象。かけられた手間や共用空間・サービスは価格に反映され、それを気に入った人が買ってお住まいなのだから、横から口を出す必要はない、と思う。



グランドメゾン

- A: サ高住において、多世代交流の場の『リブインラボ』と住戸からの日常動線が繋がっていることは、高齢者の孤立を防ぐことにも役立っていて素晴らしいと思いました。
- A: 多様な住まい方をする居住者が程よく触れ合う中庭広場が好ましい
- A: 多世代が生活し、持続可能な居住を目指す住居構成（学生向け賃貸マンション、子育て世代向け賃貸マンション、サービス付き高齢者向け住宅、介護付き有料老人ホーム）となっている。一つの街を構成していて、賃貸なので住居に縛られることなくライフスタイルに合わせて住み替えできる一つの理想形をみた。
- B: 隣接公園と一体化した保全緑地や外周部の植栽など、地域環境に貢献している。住棟デザインはシンプルながら、上品なものになっている。内部は長い廊下に面くらったが、ロビーや住戸内部は居心地がよさそうだった。特にサ高住からの眺望は抜群。
- B: 子育て世帯、高齢者、学生など多様なニーズに対応した、とても意欲的な企画の賃貸住宅。南側の氷川神社から見るとかなり圧迫感があるのが残念。
- B: 白色のモダンな感じの外観デザインは素敵。また、様々なライフスタイルの居住者が一体になっているのは面白い。でも住棟内は、迷い子になってしまいそう。
- B: サ高住の相談窓口と賃貸等のフロントを一体化することで賃貸物件の価値をあげつつ、高齢者とファミリー世帯の交流が図れる仕組みとなっていると感じました。
- B: いろんな方々が混じって住むことは良いことだと思うが、廊下が静かで、人の気配がないのが寂しい。高齢の方々が廊下で談笑したり、子供たちが走ったり、という方が個人的には好き。きっと「静か」が最上命題なのだろうが、人間味がないように思う。
- B: 多様な住宅タイプを組み合わせ、ひとかたまりの住宅群に仕上げた努力に脱帽いたします。駐車場を（出入りも含めて）目立たないようにレイアウトされた計画は、集団としての「プライムメゾン」の意味を優れたものにしていると思います。植栽の手入れも良好です。それらのコストが気になりますが。
- B: 隣接したリブインラボの食堂が利用できること、多世代とともに時間が過ごせるのがよい。
- B: 賃貸棟としてはグレードの高い仕上がりとなっており、狙いとなっている「子育て世帯」の入居は期待出来そう。但し街区内に子供たちの遊べる場所が無くその部分は×。駐車場が機械式で車の出し入れに時間がかかりそうなのは分譲棟と同じ。
- B: 賃貸エリアには、学生枠と医療従事者枠、サ高住を含み、まちのコンセプトが明確に現れたエリアと思いました。分譲エリアも同様ですが、居住者から見た「江古田の杜暮らし」を尋ねてみたい気がしました。
- B: 多様な用途、機能をになっていますね。外観が壁のようなのが少々残念。
- C: 居室に入った時、実際の広さ(m²)より狭く感じました。間取りのせいでしょうか？収納がもう少し大きい方が良いと思いました。
- 一: 途中で早退しましたので、見学していませんが、子育て世帯向けだけでなく、サ高住、有料老人ホーム、学生向け、医療従事者向けなどこれほど多様な賃貸住宅をまとめて提供している開発事例はあまりないのではないのでしょうか。



A:まちづくりのコンセプトを踏まえたコミュニティの中核として、このようなスペースが設けられているのは素晴らしい。地域開放施設もあり、イベントや諸活動も盛んで、若い人々が大勢利用して、レストランも美味しそうだった。ただ、収支面での持続的な運営方法が課題か。

A:地域に開かれたリビングのような空間で、多くの人で賑わっていた。エリアマネジメントは大変そうだが、地域のニーズに合わせて機能や空間を柔軟に変化させることができれば、もっと面白くなると思う。

A:このプロジェクトのキモ的施設(地域に開放された無料で使える大空間+ちょっとしたレストラン)素晴らしい。今後この空間の使い方が本プロジェクトの魅力を左右するのでは？

A:「えごたいえ」では子供たちや学生、高齢者など多世代の方々がそれぞれの時間を過ごされていて、良いと思う。絵本ライブラリーも楽しそうでよいな、と思った。土曜日だったためか小さい子供の面倒をお父さんがみていて、時代を感じた。お父さんどう知り合いになるのにも一役買うだろう。それはコミュニティの醸成にもつながると思う。

A:行き届いたコミュニティ施設群、理想的な集団居住の拠点として、美しい空間の連続です。人工股関節の障害者の一人として、エスカレーターがあれば満点だったのですが。

懇親会をひらかせていただいたレストランも、味も飲み物も大満足でした。

小さな子供たちと、若いママが元気に過ごせる、ほかにはない施設群ですね。

A:採光がよく開放的で良い空間、若者がいたり多世代が混ざり合って活用されているのがよかった。またピアノコンサートなど文化的なイベントが開催されることによって文化的な街になりそう。

A:ガラスを多用し明るく今風な造りが魅力。各施設とも外に開かれていて外構のグリーンがどこからでも目に入る設計が良い。いずれの施設も活用度が高く、かつ若い人の利用が主体となっているのは当初の狙い通りか。

A:マンションの共用部が交流の場として日常でもあれだけ利用されているのを見て驚きました。おしゃれなレストランがあり、その空間の延長でコミュニティスペースがあり、とても開放的で明るく、自然と集まりたくなる雰囲気のある場所だと思いました。いろいろな利用の仕方を楽しめそうで、とてもポテンシャルの高い場所だと思いました。

A:短時間の滞在でしたが、子どもから杖をついたお年寄りまで、世代を超えた利用者が気軽に集まることの出来る場であることが伺えました。この場所を今後どのように育てていくのか、マネジメントがポイントのように思えました。

A:外部に開放されていて、多くの方々に利用されている実態を見せて頂きました。また居住者のボランティアによる演奏会など、素晴らしい試みだと思います。企画者側はご苦労な事と思いますが、こういった活動がサステイナブルなコミュニティーを形成してゆくと思います。頑張ってください！

A:・ガラス張りで室内からは外の緑と光が、外からは道路に面した一画が見え開放感にあふれる

・居住者ばかりでなく一般にも開放されているところが優れている。

・地域コミュニティの中心となるリブインラボ(食堂・ラウンジ・一般開放部が仕切りなく一体となっている)2 階には学童保育、もりのいえ(キッズルーム、絵本ライブラリー)、隣接して保育所が設置され、子育て世代を中心に私設のコミュニティ施設として意欲的な施設である。

A:多くの方の居場所になっているのが何よりです。

A:レストランとコンビニ、ラウンジが連続した開放的な空間となり、多くの人が集まっていたので、大変いいまちの拠点になっていると感じました。食事も美味しかったです。

B:周辺の住民も含め、みなで使える仕組みが素晴らしいと思います。エリマネの肝のキッズルームの活動が外に向かい周辺に影響を及ぼすようになるとういのではないのでしょうか。

B:様々な活動が期待されるスペースになっている印象

A:公園や保存緑地、江古田川、寺社などに隣接しているので、それらとの関係をよく考えて(どこが敷地境界なのか一見わからないほど)植栽や緑地が一体的に計画されているのが良い。ただ、敷地内と公共公園で、管理水準に歴然たる格差があった。

A:各々の街区の建物の密度はかなり高いのだが、外周部に緑をうまく配置しており、江古田の森公園とも一体となって街全体が豊かな緑に覆われているように見える。

A:施設内及び周辺に数多の保存樹木に記載されている名前を辿って歩くのも面白そう！

A:気持ち良い場所でした！

A:訪問したのは冬であったが、きっと春になれば花が咲いて美しいのだろう。散歩も楽しそうで健康で過ごせそう。周辺住民にも益がありそうな開発だが、昔からの住民は前の方がよかったとかいうかもしれない。しかし完膚なきまでに壊されるよりずっといいのだ。

A:貴重な斜面緑地をよく保存されたと思います。ただ、管理主体によって、管理の程度に差があり、倒木を切り刻んだままになっているところもありました。また、全体としてあまり歩く人を見かけないのも寂しかったですね。

園路には階段も多くありましたが、一部に手摺りがないところもあり、足元を気遣いながらの散歩となりました。全体としての維持管理という点では、心配です。

A:古い大きな木が残され、人工的な造園感がないのがよかった

A:自然環境が豊で緑が多い住環境、生涯住み続けたい価値ある場所だと思います。

A:このプロジェクトの価値を高め、且つ、個性を生み出している重要な要素の一つは、隣接する公園をはじめとする周辺の既存緑地と思われます。新宿に近接しながらも緑豊かな環境という大変恵まれた条件をこのプロジェクトがそもそも有していて、それをしっかり活かしていると思いました。

A:分譲マンションエントランスのゆりの木や、交差点での河津桜がポイントとなり、敷地の周囲や歩道沿いに緑地帯が形成され、また、よく管理されていると思います。

B:住宅街区内に子供たちの遊び場を見なかった。隣接する「江古田の森公園」にそれを補完させているが役不足。こんな街中に鬱蒼とした雑木林を残せた事は◎。街区内の植栽は野趣に富んでいて心地よい。

B:自然の形にあまり手を入れず、極力元のまま残そうと尽力していらっしゃる姿勢を感じました。ただ、このエリアが周辺コミュニティとの交流のバリアーにならないか良いのですが。

B:中野エリアに僅かに残された里山環境が好ましい

B:・川沿いの斜面緑地がまとまって残されていて、武蔵野の原風景を感じさせる。

・管理上の問題からか、フェンスで囲っている箇所がある。もっと開放的にならないものか。

B:隣接公園、江古田川と一体的な空間が実現できていました。もう少し利用されるような工夫ができればよかったかもしれません。



住宅敷地内に確保された緑空間

3 自由意見（「江古田の杜」と周辺のまちとの関係、印象に残ったこと、企画全般に対する感想）

- そもそもレストラン・カシータの運営する「えごたいえ」に行ってみたい！という私の願望から始まったこの企画ですが、椿さんのおかげで説明・内部見学付きのとても充実した貴重な機会になりました。欲を言えば、もう少し周辺地域も歩いて、地域に開かれた教会や修道会なども訪れて、土地柄を把握したかったですね（江古田の杜は、地域に溶け込んでいるのか、孤立しているのか）。椿さん、丁寧な調整をありがとうございました。デザートのURフラッグ、びっくりでしたね！（OR）
- 公務員宿舎の跡地を国が競争入札で処分していたら、おそらく単なる分譲マンション主体の開発にしかならなかっただろう。UR がいったん土地を取得し、まちづくりの視点での公募条件を設定し、民間事業者もそれに応えて開発を進めたことで、非常に質の高いまちづくりが実現したのだと思う。
- 今回は、いつもの TEKU-TEKU とは違って、関係者の方の丁寧な説明もあり、とても充実したまち歩きでした。（KT）
- 周辺の住宅地と豊かな緑によって少し隔てられているので、ゲーテッドコミュニティ感をいただきましたが、リブインラボと地域とこの地区間の世帯循環により、近い将来周辺地域と一体になった素晴らしいコミュニティが形成されるんでしょうね！
- ご案内頂いた三輪さん、熊谷さんありがとうございました。（IY）
- 関わっている方に具体的なお話を伺えてとても勉強になりました。ありがとうございました。（UT）
- しばしば静かにすることを強要されているようで、排他的な印象を持った。もちろん住宅エリアは居住者のものだから排他的でよいのだが、子供達には他者に対して不寛容な人間に育ってほしくない。看護学生たちに期待します。
- 周りにお宮さんやお墓があって、それを多様性と感じ、好印象を持ちました。新住民と旧住民の交流が地域の活性化につながることを祈っています。（IK）
- 世代を越えた住まいとしての街を享受することは、人生における理想・必要ではありますが、そこに到達できるか否かは、個々人の置かれた境遇によって大きく異なります。
- 私の人生のこれからの「終活」に、はるかな理想像として「江古田の杜」が見えたこととお知らせして、感想とさせていただきます。（MT）
- 江古田の丘、蛇行した江古田川の地形は意識したことがなく、また周辺には大学もあり多様な要素があり、興味深かった。リブインラボをいろいろな年代の人たちが利用している場面は印象的。夜の森と樹々の間から見える月あかりはロマンチックでした。勉強になるよい機会をいただきありがとうございました。（HH）
- 完成後日が浅く評価にはもう少し掛かりそうだが、ここで行われた新しい試みが実を結び次に繋がる事を期待。（FMi）
- 『江古田の杜』が周辺地域に開かれていて、イベントやコンサートなど、多世代の交流の場としてまちの活性化にもひと役かっているとのこと、とても素晴らしいことと思いました。
- 世帯が循環しながら、慣れ親しんだコミュニティの中で安心安全に生涯暮らし続けられるというのは、とても魅力的です。『江古田の杜』はぜひそこで暮らしてみたい、と思わせる仕掛けがいろいろあると思いました。
- 私自身、ライフステージに合わせて住環境をどのように変えるのが良いのかと、身に迫る関心毎でもありましたのでとても勉強になりました。
- プロジェクトのお話や実際の見学など、勉強になる楽しい企画に参加させて頂きましてありがとうございました。（SN）
- 1でも記載しましたが、「江古田の杜」が企図どおりの「持続性あるまち」に育つのか、期待したいと思います。大変興味深い企画でした。当日ご案内頂いた関係の皆様、そして椿さんにお礼申し上げます。

ます。(OM)

○気になったのが、周辺の既存コミュニティとの関係性です。地盤も周辺より高くなっていますし、あの一角だけぽっかり浮き上がっているように思えます。周辺の従前からの居住者から見ると、突然出現した異邦人の村で自分達とは関係ない場所、という感じではないでしょうか？もっと自然に周辺の古いコミュニティと溶け込むような工夫、ハード面でもソフト面でも、があればもっと素敵になるのかなと思いました。(MM)

○中野エリアのオアシスの一つ、里山住宅といえる(MH)

○・江古田の杜は中野区の外れに位置し、練馬区に隣接する。民間運営では行政区に縛られることなくコミュニティ施設の運営ができています。住民にとっては理想だ。

・リブインラボが地域に開放されている。計画段階の理念が引き継がれている。今後も継続して地域に開かれた施設であってほしい。(YY)

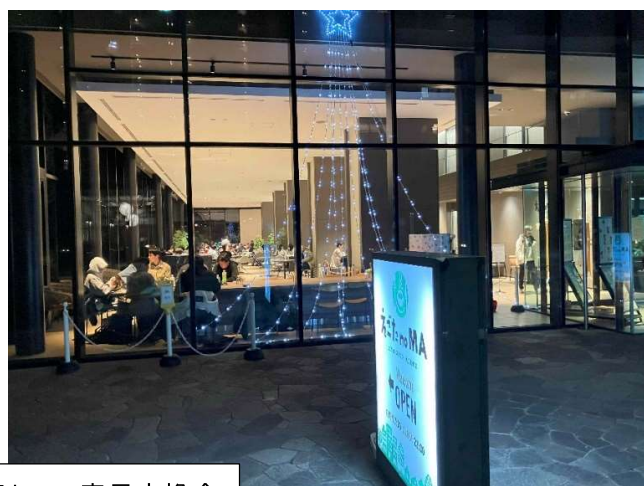
○休日にもかかわらず、UR のご担当の方、リブインラボ協議会のご担当の方にご案内いただきありがとうございました。私が、UR 出向中(H24~25)に計画されていたプロジェクトが無事完成したのを見ることができ、大変感慨深いテクテクになりました。関係者の皆さんお疲れ様でした。(MH)

○事業着手時点で担当したプロジェクトの「いま」を拝見しました。盛りだくさんの「ねらい」がこれから先、どのように推移するのか、楽しみでもあり、ドキドキするところでもあります。周辺地域とじわじわと一体化していくことを期待していたのですが、それにはまだ時間がかかるのかもしれない。(TS)

【コーディネーターより】

今回は、あまり歩かない TEKU-TEKU でしたが(笑)、多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。

「えごたいえ」での意見交換会は、おいしい料理にお酒、さらに UR フラッグ付きのデザートと温かいおもてなしを頂きました。



えごたいえ。そして、意見交換会

